

緑の風 FAX版



NO. 91 2021年5月22日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

防衛費がGDP比1%を超える!!

5月20日の記者会見で加藤官房長官は、防衛費について「**国内総生産(GDP)比1%枠内に抑えるという考え方は取っていない**」と述べ、日本を取り巻く安全保障環境に触れ、「必要な予算を確保し、防衛力の強化に着実に取り組みたい」と強調したという報道がありました。

日本の防衛費については、**1976年に国内総生産(GDP)比1%を超えないことを閣議決定**しましたが、**冷戦の緊張感が高まったことを理由に1987年に中曽根内閣が枠を撤廃し、1987～89年度の防衛費はGDP比1%を超えました。**1990年度以降、GDPやGDP比で1%を超えたのは2010年度だけでした。2021年度まで9年連続で防衛予算は増額を続けていますが、要求ベースでも前年度のGDP比1%水準を保ってきています。

4月に行われた日米首脳会談後の共同声明では、「台湾海峡の平和と安定」に触れており、台湾有事は尖閣防衛の問題に直結するとの認識が強まっているという報道もあります。

防衛費 GDP 比1%枠内に抑える考え方とは

1954年に自衛隊が発足して以来「防衛費が無制限に膨らむ」との懸念が国内外にあったため、田中角栄内閣が歯止めとなる基準作りの議論を始め、1976年の三木武夫内閣で「GDP比1%を超えない」と閣議決定しました。

私たちの生活と、政治や経済は無関係ではありません!



日本の国の借金は2020年度末時点で1216兆円を超えています。2021年4月1日現在の総人口で割ると一人当たり約970万円になります。新型コロナウイルス流行対策で国債を増発したため、過去最大の借金となっています。



そのような中、防衛費がGDP比1%を超える必要性はどれくらいあるのでしょうか？みなさんはどう思いますか？